

# Editor's Choice

今月の編集部オススメのソフト&ハード

今月のおすすめは、インターネット経由でパソコンからふつうの電話にかけることができ、国際電話料金を節約できる「Net2Phone」、電話番号を打ち込む感覚でホームページのアドレスを指定できる「Hatch」、とにかく機能が豊富なメールソフト「Becky! Internet Mail for Windows 95」、メールアドレスの自動登録やボイスメールのワンタッチ送信機能など、ユニークな機能が特徴の「Pronto Mail日本語版」、29,800円という低価格を実現したISDN用ターミナルアダプター「PCLINK TA201」だ。

## 今月のラインナップ

インターネットから既存の電話網にかけられる

### Net2Phone

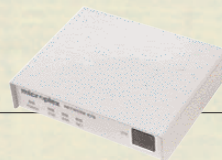
[開発元] IDT



キューカムと組み合わせて手軽に定点観測カメラサーバーが構築できる

### NetworkEye/270 FrameServer

[発売元] Microplex Systems



数字を打ち込むだけで好きなホームページにアクセスできる

### Hatch

[発売元] ディ・アンド・アイ・システムズ株式会社



オンラインソフトにまた強力なウィンドウズ用メールソフト登場

### Becky! Internet Mail for Windows 95

[開発元] RIM-Arts software laboratory



アドレス自動登録が可能な電子メールソフト

### Pronto Mail日本語版

[発売元] 誠和システムズ株式会社



ついに3万円を切った低価格ターミナルアダプター

### PCLINK TA201

[発売元] 株式会社沖データ



付録のCD-ROMに収録

## このコーナーの見方



市販のハードウェア製品



市販のソフトウェア製品



シェアウェアのソフトウェア



フリーウェアのソフトウェア



ウィンドウズ95用



ウィンドウズ3.1用



ウィンドウズNT用



OS/2用



マッキントッシュ用



UNIX用



動作環境



発売元



電話番号



価格



関連情報



バージョン



作者/開発元



入手先



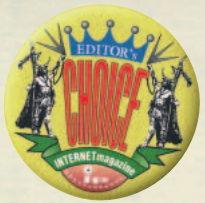
付属品



ファイルサイズ  
最速転送時間

[注]「最速転送時間」とは、28800bpsのモデムを使って圧縮なしでファイルを転送した際の、理論上で最速の転送時間を意味します。ダウンロードするときの目安としてください。ファイルサイズ(バイト)×10÷28800で計算しています。端数は切り上げています。





インターネットから既存の電話網に電話がかけられる

ネットツーフオン

# Net2Phone



無料(ベータ版)



IDT

## ここがスゴイ!

- 1 インターネットからふつうの電話にかけられる
- 2 使い方が簡単

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]

インターネットを使って、通話を行うソフトウェアがいくつか登場しており、アメリカでは電話会社が規制するように騒ぐなどちょっとした問題になっている。多くの場合、これらは音声をデジタル化してインターネットを通じて送るもので、相手もパソコンを持ち、同じソフトウェアを使わなければならない。ところがこの「Net2Phone」は、パソコンから普通の電話にかけられることができる。

### ▶ サーバーから公衆電話回線に接続

このソフトウェアは、パソコンのサウンドボードを使って、音声とデジタルデータの変換を行う。接続先はIDT社のサーバーになっており、ここでデジタルデータは音声に変換され、公衆回線へ接続される。このため、接続先にはなんら特殊な設備は必要なく、普通の電話にかけられるのである。

IDT社はコールバックを専門とする電話会社である。インターネットプロバイダーのビジネスも行っており、このソフトウェアは、電話会社とプロバイダーの両方のビジネスを行っている会社ならではの製品である。

なお、現時点ではソフトウェアはベータ版で、無償で提供されている(<http://www.net2phone.com/>)。これを使うと米国内のフリーダイヤル(800番で始まる番号)なら「タダ」で電話をかけることができる(もっともインターネットへの接続料金はかかっているが)、フリーダイヤル以外の番号へかけるにはIDT社にFAXでクレジットカード番号などの登録を行い、10桁の暗証番号をもらう必要がある。

### ▶ 使い方は簡単

ソフトウェアは圧縮されて約730Kバイト程度であり、ダウンロードもそれほど苦ではない。

プログラムを起動すると最初に登録のためのダイアログが出る。現時点では正式登録ではないので、名前と暗証番号などを入れて登録を終了すると、自分のアカウントナンバーがもらえる。この登録はオンラインで行うので、起動前にはインターネットに接続された状態になっている必要がある。

プログラム本体は電話を模したデザインになっており、フリーダイヤルの場合、相手先の番号を押して「Call」ボタンを押すだけで接続が開始される。フリーダイヤル以外の場合はまず「\*」と打ち込み、IDT社のサーバーの音声ガイダンスに従って、あらかじめ取得しておいた暗証番号を打ち込み、そのあとで相手先

の電話番号を指定すればよい。

サウンドブラスターの全二重通話用ドライバーには対応していないので、Net2Phoneを使って電話をかけると、「半二重」の通信になる。つまり、トランシーバーのように、片方だけが話せて、話している間は聞くことができないのである。この切り替えは、「VOX」を使うと自動で行え、こちらが話していない間は、相手の声が聞こえるようになっている(アマチュア無線のトランシーバーにあるやつと同じ)。また、手動でも可能で、このときには、「Push To Talk」ボタンかスペースキーを押すことでこちらの声が送られるようになっている。設定はVOXの感度と切り替えまでの無音時間の設定のみで、「Auto」を選択すれば調整の必要もない。

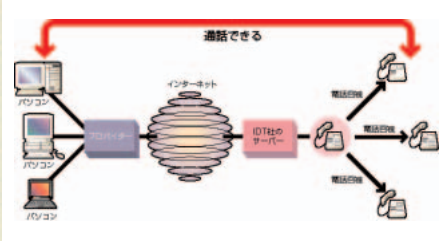
### ▶ 回線の状況がよければ電話とほぼ同じ音質

なさけないことに筆者は英語に自信がないので、日本語の流れる日本人向けの番号へかけてみた(英語が当然と思われる番号に電話してみたが、向こうもHelloを繰り返すばかりで、こちらの英語が悪いのか、システムに何か問題があるのかわからなかった)。ISDNを使ってのプロバイダーとの接続であるが、音質は意外によく、電話とほぼ同じという感じである。ただし、パケット転送の揺らぎによるノイズはあり、常に一定の品質というわけではない。時々、音が乱れるが、プロバイダーが混んでいない時間帯であればそれほど問題ではないと思う。転送レートなどの統計値を表示することもできるので、混み具合を知ることできる(とはいえ、通話を開始しないとわからないのだが)、この表示でパケットのロスが大きかったり、転送レートが低い場合には、双方で聞き取りにくくなるので、悪い時には通話をあきらめたほうがよい。表示はローカル側とサーバー側の双方の値が出るようになっている。インターネットは空いていても、サーバーが過負荷でレートが落ちることもあるので、確認は必要だろう。

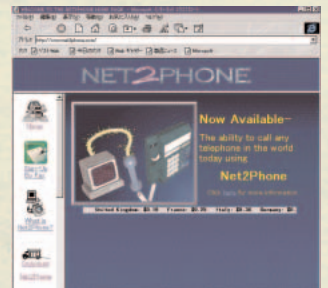
VOX使用時には、話している間は聞けないので、こちらが「半二重」であることを相手が理解していたほうが、話がしやすいと思う。

日本からだと登録が少々面倒ではあるが、かける相手を選ばないというのは魅力的である。誰でも使えるシンプルさがよい。(塩田紳二)

Net2Phoneのしくみ



Net2Phoneの画面。数字ボタンのデザインは米国の電話と同じ。



IDT社のホームページ。有償通話をするためのFAXの申込み書のフォーマットがある。

## Net2Phone



IDT



4.62



無料(ベータ版)



730Kバイト/4分20秒



<http://www.net2phone.com/>





299ドル



Microplex Systems



キューカムと組み合わせて手軽に定点観測カメラサーバーが構築できる

ネットワーク・アイ

フレームサーバー

# NetworkEye/270 FrameServer

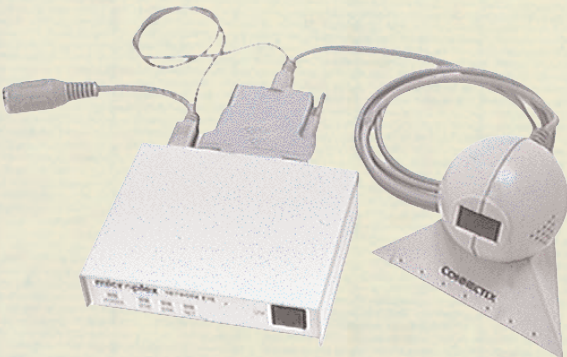


## ここがスゴイ!

- ① 簡単なセットアップで定点観測カメラのページを実現
- ② コンパクトな筐体
- ③ 低価格(299ドル)

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



① コンパクトな筐体。この小ささで定点観測サーバーが構築できるというから驚きた

「NetworkEye/270 FrameServer」(ネットワーク・アイ/270フレームサーバー、以下NetworkEyeと表記)はいわゆる「ピーホール(覗き穴)」、つまり「定点観測カメラ」といわれるページを簡単に実現する小さなボックスだ。ボックスの中にWWWサーバーやFTPサーバーの機能を内蔵し、ネットワークへの接続のほかにCU-SeeMeなどでもおなじみの簡易カメラのキューカム(誠和システムズが発売)を接続すればすぐにホームページを利用

したりリアルタイムの画像発信が行えるようになる。今回は開発元のMicroplex Systems社から正式版一歩手前のベータ機を入手することができたので、ここで紹介することにしよう。

▶ **小さなボックスにWWWとFTPのサーバーを内蔵**  
このちょっと変わった製品はカナダのバンクーバーにあるMicroplex Systemsという会社が開発したもの。実測値で幅11.2cm、高さ2.6cm、奥行き9.3cmという小さなボックスで、中にはROMでWWWサーバーとFTPサーバーを内蔵しているほか、64Kバイトのフラッシュメモリーによる読み書き自由なユーザーエリアが用意されている。外観もシンプルで、状態表示用のLEDが4つ、コネクターにネットワーク接続のための10Base-Tコネクター、本体用電源コネクター、そしてキューカムとつなぐための信号、電源コネクターの計4つがあるだけという構成だ。ただし、対応するキューカムはウィンドウズ用だけで、マッキントッシュ用はコネクターが異なるために使用できない。



② WWWブラウザを使って設定できるで、遠隔地からも設定が変えられる



③ NetworkEyeを使って作成した定点観測ページ

## NetworkEye/270 FrameServer



Microplex Systems



299ドル



なし



<http://www.microplex.com/>

されている「arp」コマンドを利用する方法である。ちょっと変わった方法ではあるが、これで一時的なIPアドレスの設定ができる。

IPアドレスがセットできれば、あとはWWWブラウザでNetworkEyeにアクセスすることで、普通にホームページを利用する感覚で各種設定が行える。ネットワーク管理に必要な細かい情報もここで設定でき、前述の「arp」コマンドで一時的なIPアドレスの設定を利用した場合には、もう一度ここで設定することで最終的な設定が完了したことになる。また、静止画の解像度や明るさの調整、WWWサーバーとFTPサーバーの設定変更もこれで簡単にできる。WWWブラウザ経由で設定が変更できるため、リモートメンテナンスが可能で、設定メニューには任意のパスワードロックもかけられる。設定データは不揮発メモリーに記録されるので電源が落ちてでも再設定する必要はない。

▶ **64Kバイトのユーザーエリアが自由に使える**  
64Kバイトのユーザーエリアには初期の状態ではいくつかのHTMLが記録されており、前述の設定用ページのHTMLのほか、サンプルとしてキューカムで撮影したデータを表示するHTMLが2種類用意されている。1つはHTMLの「META」タグを利用し、指定のタイミングで画像を更新するもの。もう1つはサーバーブッシュによって画像を連続送信し、アニメーション表示させるためのもの。  
WWWサーバーとFTPサーバーはこのエリアのデータを共通に利用しているので、あとはFTPクライアントを使って自分の作った好きなHTMLをこのエリアに置いたり書き換えたりすれば、思い通りの定点観測カメラ用サーバーを構築できることになる。

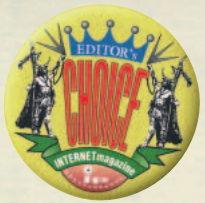
▶ **正式版ではカラーキューカムにも対応**  
価格も299ドルと安いので、インターネットを利用したちょっとした監視カメラとしても気軽に使える。イントラネットの中で使うのもいいかもしれない。アイデア次第でいろいろな用途に使えるのではないだろうか。  
ベータ機では白黒画像を表示するキューカムのみに対応してはなかったが、正式版ではカラー画像に対応したカラーキューカムも利用できるようになるそう。また、正式版は9月ごろから出荷を開始し、日本でも代理店を通して販売する計画があるとの回答を得たので期待したい。

(石橋文健)

## 試用レポート

▶ **セットアップは簡単**  
ハードウェアのセットアップはACアダプター経由で電源を接続し、イーサネットケーブルとキューカムの接続を行うだけだ。IPアドレスの設定方法は3つある。まずUNIXの世界でおなじみの「BOOTP」と「RARP」のプロトコルを使う方法があるが、こちらはサーバー側の設定変更などを伴うのでネットワーク管理者と相談するといいたい。もう1つはもっとも簡単な方法で、ウィンドウズNTやウィンドウズ95にも標準で搭載





数字を打ち込むだけでホームページにアクセスできる

ハッチ

# Hatch

ここがスゴイ!

- ① 最大10桁の番号を打ち込むことで、長いURLをタイプせずすむ
- ② Javaを使ったWWW版が用意されていて、マッキントッシュやUNIXにも対応

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



無料



ディ・アンド・アイ・システムズ株式会社



インターネットにからんでいろいろな商売が行われているようである。サーバーのリースやドメインの売買といったものまでであるということだが、変わった商売も現れた。ディ・アンド・アイ・システムズ株式会社のこのシステムは、最大10桁の番号とURLを対応させることでURL入力をカンタンにするプログラムを使い、その番号を売るのである。

### ▶ 長いURL入力は面倒

WWWにアクセスするためには、欲しい情報のあるサーバーのアドレスを知らねばならない。このアドレスはURLという書式で書かれたもので、インターネット内で情報の位置を示すには便利なものである。

しかし、最近ではいろいろな組織がさまざまなホームページを持っているため、URLは複雑になってきている。長い会社名を略してドメイン名としたり、あるいは、ローマ字で長い組織名をそのままドメイン名とするなど、キーボードを打つのがちょっと面倒なことはたしかである。省略の仕方が理解できない記号のようなURLは打ちにくいものだ。牛がマークのGateway2000社などドメイン名は、「gw2k」であったりしてちょっと想像も付かない。

一度電車の中吊り広告でみたURLを打ち込んでみたが、どうしてもサーバーにアクセスできないと思ったら、いつのまにかURLの入っていた広告だけがすぐ無くなっていったということもあった。まあ、門外漢にとっては、意味のわからないお経のようなものといえるだろう。

### ▶ URL入力が不要になる

それで登場したのがこのHatchである。Hatchでは、電話番号と同じ最大10桁の番号とURLを対応させ、番号を打ち込むだけで、URLを打ち込まなくてもWWWにアクセスできるようになっている。発売元では、その番号をサーバーの所有者に年いくらかのお金を取って割り当てることでビジネスをする。

電話番号は単なる数字の羅列だが、語呂合わせなどをつかって、広く認知されている「アドレスの書式」である。このため、一般の人にもそれほど拒否反応はでないはずである。たしかに、長いアドレスを打ち込むのに比べれば、番号を入れるほうが簡単である。番号の使用料は10桁で年間2,000円、9桁6,000円と桁数が少ないほど高く、最も少ない13桁は年間200万円となっている。

### ▶ ウィンドウ95以外はJavaを使用

Hatch自身は、ネットスケープのプラグインとJavaScriptのついたHTMLファイルから構成されている。Hatch.htmlを読み込めば、ウィンドウが開き、テンキーが現れ、もう1つブラウザのウィンドウが開く。数字を入れて、「start」ボタンを押せば、アクセスが開始される。システムとしては意外に簡単で、今回入手した体験版には電話帳に相当するリングとじの冊子が付属していた。このプログラムでは、数字とURLの対応データをファイルとして持っており、対応は固定だが、たぶん、正式版ではサーバーへいったん接続して、最新のデータを使ったアクセスが可能になるだろう。また、ウィンドウ95以外のプラットフォーム向けには、インターネット上のサーバーでJavaバージョンのシステムがあるので、そちらを使うことになる（http://netcity.or.jp/hatch/）。

この冊子に載っている番号を入れるとページが開かれる。まあ、簡単といえば簡単である。この方法であれば、インターネットのURL集の類も結構簡単になるし、誤植も減るかもしれない。

### ▶ システムが普及すれば便利

ソフトウェアをインストールすると、スタートメニューにHatch.htm（スクリプトを含んだHTMLファイル）へのショートカットが登録されるが、このショートカットからはエラーが出て起動することができなかった。ナビゲーターを起動して、メニューより直接「Hatch.htm」を読み込んだら動いたので、ファイルパスなどのちょっとした記述の問題だとも思う。直接読み込んだ場合には、ボタンを押して冊子の番号を入れればアクセス自体は問題なく行えた。まあ、たしかに便利ではあるが、この便利さもシステムの普及にかかっている。多くの情報提供者がこのシステムを採用すれば問題はないと思うのだが、それには朝日新聞がいきなりGコードをTV番組欄に載せたみたい大きな要因が必要だろう。なお、Hatchは秋葉原のツクモや全国のヨドバシカメラ各店で配布されている。

(塩田紳二)



① Hatchの画面。番号を打ち込み、「start」ボタンを押せばホームページにアクセスできる。



② ディ・アンド・アイ・システムズ株式会社のホームページにおすすめのサイトの番号が書いてあるので、試してみよう。

### Hatch



ディ・アンド・アイ・システムズ株式会社



03-3348-8660



無料



http://www.netcity.or.jp/hatch/hatch.htm





## オンラインソフトにまた強力なウィンドウズ用メールソフト登場

ベッキー インターネットメール フォー ウィンドウズ

# Becky! Internet Mail for Windows 95



4,000円



RIM-Arts software laboratory



### ここがスゴイ!

- ① 強力なテキストエディター機能
- ② 複数のメールアドレスを使用する人に便利なアカウント切り替え機能
- ③ クリックابلURL/メールアドレスが可能

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]

ウィンドウズ用のオンラインソフトとして徐々に強力なメールソフトが登場した。「Dana」というテキストエディターを開発していることで知られている作者が作成

したもので、もちろんDanaの機能も取り込まれている。ウィンドウズ95用に完全対応したソフトで、アカウント切り替えやクリックابلURLなど機能も豊富だ。

### ▶ ネットスケープ搭載のメールソフトに似た操作感覚

「Becky! Internet Mail for Windows 95」(以下はBecky!と表記)は数あるオンラインソフトのウィンドウズ用電子メールソフトの中でも「期待の新人」だ。「AL-Mail」、

「Winbiff」、「WeMail」といった並み居る競合を相手に、機能の豊富さと使い勝手の良さで急速に評価を高めている。ウィンドウズ95対応で、メールソフトとして最低限必要と言われている機能はもちろんのこと、クリックابلURLや独自のURLデコーダー、アカウント切り替えなど豊富な機能を持つ。またウィンドウズ95に対応し、高機能でありながらも動作スピードは軽く早い。実行画面は左側にメールボックスのフォルダーツリーがあり、右側にメールの一覧が表示される。その下側はメール本文と添付ファイルを表示するビューアがあり、メールのタイトルをマウスでクリックすればビューアに本文を表示する。メールを返信したり、新規作成するときのみ、文書作成用の新しいウィンドウが現れる。メールのタイトルを移動すれば任意のフォルダーに格納でき、ネットスケープのメールソフトと同じ感覚だ。

### ▶ アカウント切り替え機能は便利

Becky!には、他のメールソフトではあまり見られない機能として、アカウントの切り替え機能がある。会社のLANを使用してインターネットに利用している人で個人でもプロバイダーに入っている場合など、インターネットに複数のメールアドレスを利用している人には簡単に切り替えられるこの機能は便利に使えるはずだ。

### ▶ 強力なエディター「Dana」が付属

また、メールソフトの基本機能はもちろん、とにか

く多くの機能を持っている。強力なのはメール送信時に使用するエディター機能で、「Dana」というエディターのサブセット版が内蔵されている。中央寄せや右寄せ、インデント、各種変換機能、行や単語単位の編集、箱形領域のコピー&ペースト、80桁での自動桁折りなど編集機能は豊富だ。

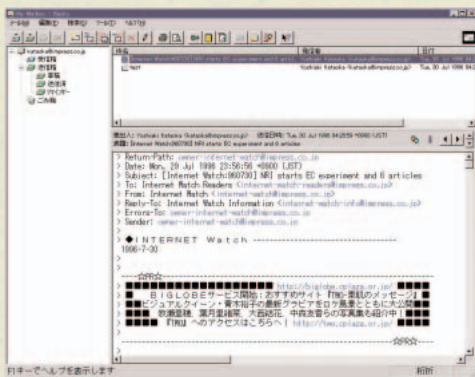
### ▶ クリックابلURL機能も装備

基本的な機能では、ファイルの添付に関してMIME形式に対応しているほか、「BinHex」や「uuencode」に対応している。また、受信と同時に自動的に指定したフォルダーにメールを格納するフィルターの機能も搭載している。文字化けを防ぐため、半角カナが含まれている場合には送信時に自動的に全角カナに変換してくれる。新しいところではクリックابلURLと呼ばれる機能もあり、本文中にURLや電子メールアドレスが記載されている場合には自動的に文字が青くなり、その部分をマウスでダブルクリックすると自動的にWWWブラウザで該当URLのページを表示したり、宛先指定がされた状態でメール送信ウィンドウが開かれるようになる。

### ▶ ユニークな機能が豊富で今後が楽しみなソフト

未読マークと既読マークの切り替えも簡単だ。アドレス帳も使いやすく、新規登録する場合も本文中に記載されたメールアドレスを取り込んだり、メールのタイトルから送信者のアドレスを取り込むことができる。作成途中のメールを草稿フォルダーに格納しておけば、後からいつでも再編集可能。リマインダー機能では、指定した日時に自動的に自分宛てにメール送信することができ、自分自身の秘書機能として利用できる。ダイヤルアップ接続のユーザーのためにオフラインでの作業も考慮されており、送信フォルダーに送信メールをためこんで、後で一括送信するといったこともできる。このように多機能なBecky!だが、まだ細かいところでは不安定なところや洗練されていないところが多いのも確か。価格もライバルのAL-MAIL(2,000円)やWemail(3,000円)、Winbiff(3,000円)に比べると少し高めだ。ただ、とにかく短期間でのバージョンアップが続くなど精力的な改良がぐわえられている真っ最中なので、不満や要望があればどんどん作者に伝えてみるといいだろう。今後が楽しみなソフトだ。

(石橋文健)



① Becky!の画面。ネットスケープナビゲーターに付属するメールソフトに使い勝手が似ている。



② アカウントの設定画面。違うアカウントが複数登録できる。

### Becky! Internet Mail for Windows 95



1.09



4,000円

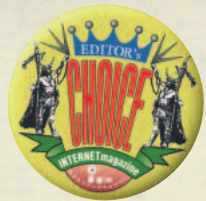


555Kバイト/3分18秒



http://www.bekkoame.or.jp/carty/carty@kagi.com





アドレスが自動登録できる電子メールソフト

プロントメール

# Pronto Mail日本語版



9,800円



誠和システムズ株式会社

## ここがスゴイ!

- ① アドレスの自動登録ができる。
- ② 送受信中も操作可能

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]

インターネットも一般的な用語となって、世の中に定着した感があり、インターネット向けのパッケージソフトなども市場として立ち上がりつつある。利用度の高いアプリケーションである電子メールでは、パッケージ製品としてEudoraなどがあるが、また、好みのソフトを選択するという状態ではないようだ。ここに来て、米国のCommTouch Software, Inc.の「Pronto Mail」が日本語化されることになった。今回はベータ版が入手できたので、その評価をレポートする。なお、ベータ版ということで、実際の製品出荷では、仕様など変更の可能性もあるので注意されたい。

### ▶ アドレスの自動登録ができる

メールソフトにはたいがいアドレス帳の機能がついており、これで送信先のメールアドレスを管理するのだが、ほとんどの場合、これは、単なるメモ帳にしかなくない。せいぜい、OS側のカット・アンド・ペーストの機能を使って、メールからアドレスを切り出して貼りつけられる程度のものでほとんどであった。しかし、メールアドレスも、ヘッダー情報としてメールと一緒にくるわけで、これを自動的に取り出して登録することは不可能ではないのである。

Pronto Mailには、メールからアドレスを自動的に取り出して、アドレス帳に登録する機能がついている。このため、アドレスの登録間違いによって、エラーメールが返ってくるのがなくなるわけだ。

### ▶ サーバーと通信中にも操作可能

Pronto Mailは、サーバーとの通信中でも、操作が可能だ。Eudoraなどでは、サーバーとの通信中は、操作ができない。先に受け取ったメールを見ることもできないので、転送が終わるのをひたすら待つしかない。専用線につながっている場合はともかく、ダイヤルアップ接続では、通信時間をあまり無駄にたくない。それで、転送中にメールが見ることができるなら、転送が終わる前に急ぎのメールの返事ぐらいは書けるわけだ。メールを使い始めると、必要な情報はメールの中ということもままあり、前に来たメールが見たいのに大きな添付ファイルの付いたメールが来たりして、接続が終わるのをひたすら待つということもなくなるわけである。

### ▶ 基本的な機能も充実

メールソフトとしても最低限の機能はある。フォル

ダー振り分けのルール設定やソート、条件指定による表示などの機能があり十分といえる。また、GUIを使ったメールの移動なども可能で、手動操作でもメールの整理が簡単だ。また、ドラフトフォルダーがあり、作成途中のメールや、ひな型などを保存できる。

バイナリーファイルの添付も、ツールバーのボタンやドラッグ・アンド・ドロップで簡単に行え、ボイスメール専用のボタンも用意されている。これは、メール作成ウィンドウのツールバーボタンを押すと録音が始まって、添付ファイルとなるもので、手軽にボイスメールができる（ファイルはWavファイル）。操作が簡単なので、大きなメールを送信しても安心な社内メールなどでは利用価値がある。

### ▶ 自動登録は便利だがもう工夫ほしい

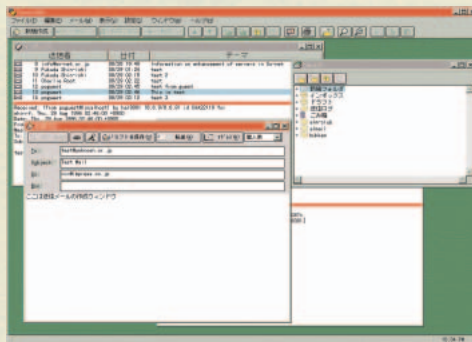
ベータ版を使って見たが、基本機能としては、まず問題はなさそうである。ただ、複雑なMIMEメールなどをやりとりしたわけではないので、解釈の違いによる違いなどについては確かめていない。

アドレスの自動登録機能は、新着メールを開いたときにそのメールアドレスがアドレス帳に登録されていないと登録画面が開いて登録が可能になる。このとき、アドレス帳の名前部分は、メールアドレスのドメイン名以下（@から後ろ）を削除したものが使われる。メールアドレスには「Real Name」などを記述できるようになっているので、ヘッダーフィールドから、アドレス部分と「Real Name」部分を分離して登録できるようにしてほしい。

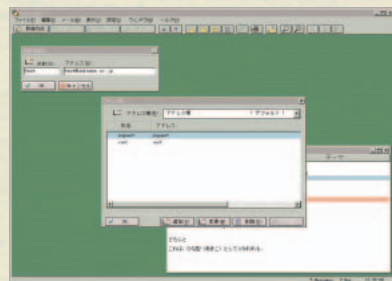
### ▶ メールの振り分け機能は改善の余地あり

通信中の操作も問題ない。使えないのはサーバーなどの設定ぐらいで、ほとんどの操作が可能である。メールの振り分けを1通ごとに行うため、着信したメールは、指定したフォルダーに直ちに移動される。使い心地は悪くない。ただ、どのフォルダーに未読メールがあるのかが表示されないため、メールの振り分けを行うと、メールを探すのが少し大変である。

(塩田紳二)



① ProntoMailの画面。ボイスメールボタンを押すとワンタッチで声が録音、添付できる。



② 到着したメールから自動的にアドレス帳が生成できる。



## Pront Mail日本語版



誠和システムズ株式会社



2.0



9,800円



03-5352-7818



<http://www.ijinet.or.jp/Seiwa/product/info/pront.html>





29,800円



株式会社沖データ



ついに3万円を切った低価格ターミナルアダプター

ピーシーリンク

ティーエー

# PCLINK TA201

ここがスゴイ!

- ① モデム並みの低価格
- ② 使いやすい設定ソフト
- ③ 専用のDSUも安価

おすすめ度

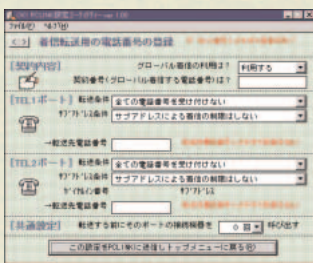
- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



① 筐体は同社のモデムと同じものを流用している。縦置きもできるコンパクトなデザインだ。インジケータの数は多い。



② 裏から見たところ。上からISDNポート、アナログポート、アース、シリアルコネクタ。ISDNポートは電話の接続に使う小さいモジュラージャックと同じサイズとなっている。



③ 設定ソフトウェアの画面。細かい点で親切な作りとなっている。

## PCLINK TA201



株式会社沖データ



29,800円



0120-296-007



設定ソフトウェア、シリアルケーブル、ISDNモジュラーケーブル、RS232C変換コネクタ

ISDN用ターミナルアダプターの老舗といえる沖データがついに低価格のターミナルアダプターを発売した。価格は29,800円。これは従来のPCLINK TAシリーズのラインナップを一新させたもので、現在の外付け用ターミナルアダプターでは最安値だ。今まで同社が発売していたPCLINK TAシリーズは8万円から10万円くらいの定価で、4万円を切るMN128やTA777などの最近の安価なターミナルアダプターに比べると割高感否めなかった。

### ▶ 現時点でもっとも低価格

その沖データが、実に魅力的な価格で新しいターミナルアダプターを発売してくれた。29,800円というのはほとんど28800bpsのモデムと変わらない。ただし、PCLINK TA201はアナログポートは1つだけだし、非同期通信もできない。しかし現実的に考えると、FAXを持たない人や、非同期通信の必要のない人などはこれで十分とも言える。同時に発売されたPCLINK TA212はアナログポートも2つ備え、非同期38.4Kbpsの通信も可能なので多機能を望む人はこちらを検討してもよいだろう。ただし、こちらの価格は39,800円で、MN128やTA777とあまり変わらない。

### ▶ 設定ソフトが使いやすい

PCLINK TA201には、ウィンドウズ95とマッキントッシュのモデム定義ファイルや設定ソフトウェアのディスクが同梱されている。このような点でコストダウンを図っている製品もあるが、いくら安くても初心者が使えないようでは困る。TA201ではそんなことはない。

設定ソフトウェアはかなり親切にできている。擬似キャッチホン、グローバル着信機能、料金表示、サブアドレスなどさまざまな機能を設定することができる。設定はあらかじめ登録してある条件の中から選ぶだけで簡単に設定できる。項目の設定は質問形式になっており、初心者を意識した作りとなっている。電話番号を設定する欄の横に赤字で「市外局番を除く」と書かれていたり、細かいところで親切さを感じる。

また、従来でもNECのTAなどに設定ソフトウェアが添付されていたが、マッキントッシュ用のものを用意しているTAはあまり見られなかった。TA201にはマ

ッキントッシュ用の設定ソフトウェアも用意されているので、アップルユーザーも安心だ。ただしパッケージはウィンドウズ用とマッキントッシュ用に分かれているので買うときには気をつけよう。

### ▶ 別売りの専用DSUも安価

PCLINK TA201とTA212には、専用のDSUである「DSU 01」がオプションで用意されている。このDSUも低価格で、NTT製の23,300円を大きく下回る15,200円だ。TA201とTA212から電源を受けるように設計されており、他のTAとは組み合わせでは使えないようになっている。ただし、TA201とTA212自体はDSU 01以外のDSUとも組み合わせで使えるので、従来ISDNを利用していた人でもTAだけを買えば使える。

### ▶ 64KbpsでのARA通信が可能

他のTAにあまり見られない機能として、64KbpsでARA（アップル・リモート・アクセス）を利用できる機能がある。これは、通常の同期・非同期変換とは違う独自のモードを利用して行う。ただし、相手側もTA201かTA212を備えている必要がある。アップルユーザー同士でやりとりする機会がある人には重宝するかもしれない。

## 試用レポート

### ▶ 割り切った価格設定は魅力

今回は発売前のウィンドウズ95版のプロトタイプをお借りした。あくまでも実際に発売するものとは少し事情が異なることをお断りしておきたい。リムネットへの同期64Kbpsによる接続に成功した。

本体側面にディップスイッチがある。マッキントッシュ版とウィンドウズ版でディップスイッチの設定が違うので、RS-232C切り替えスイッチを使って両プラットフォームを使い分けようとしている人には多少面倒くさいかもしれない。

気になる点としては、ファームウェアにフラッシュメモリーを使っていないので、アップデートをするのが面倒だという点だ。また、沖データによると、128Kbpsで接続できる「マルチリンクPPP」への対応も予定していないというので、少々不安だ。ただ、設定ファイルは使いやすいし、マニュアルも初心者を意識したものとなっている。価格で割り切れる人にはおすすめだ。 (編集部kataoka@impress.co.jp)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)